

記入例

様式第1号（第5条関係）

書類を提出した日
を記入

令和6年度 松本市施設園芸省エネルギー化支援事業補助金交付申請書

令和6年〇月〇日

（宛先）松本市長

〒390-〇〇〇〇

申請者【住所】長野県松本市〇〇〇〇…

【電話番号】0263-〇〇-〇〇〇〇

【E-mail】〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【団体名（※）】

【氏名（代表者名）】〇〇〇〇 〇〇

※法人・団体等で申請する場合に記入

金額などの数字は
全て例です。

令和6年度において、下記のとおり松本市施設園芸省エネルギー化支援事業を実施したいため、補助金2,333,000円を交付してください。

市補助金額（事業費（税抜）×2/3
※1,000円未満切り捨て）を記入

記

1 事業内容

別紙 実施計画書のとおり

2 添付資料

(1) 実施計画書（様式第2号）

(2) 導入機器又は資材の見積書の写し（単価・数量等の明細等が分かるもの）

(3) 導入機器又は資材の仕様に係る資料（販促チラシ、カタログ等）

(4) 事業規模が分かる資料（設計書、図面等）

(5) 事業実施予定地の位置図

(6) 資材導入前の圃場の写真（^ほ燃油使用暖房機等の加温設備を既に使用している者は、その写真も添付すること。）

(7) 規約又は定款（農業者の組織する団体・法人の場合）

(8) 市税の滞納がない証明書

(9) その他市長が必要と認める書類

(2) 見積書は概算ではなく、
確定した額のものをご提出
ください。

(4) 対象施設の間口、奥行、機器・資
材導入予定箇所、燃油使用暖房機の設
置箇所等が分かるもの

(5) 一般的な地図やGoogleマップ、
「eMAFF 農地ナビ」（農水省作成の農地
情報サイト）等で対象施設の位置情報
を示したもの

(8) 令和6年度より、「松本市税関係情報の閲覧等に関する同意書」をご提出頂ければ「市税の滞納がない証明書」の添付は不要です。

(6) 補助対象施設の内観、外観、燃油使
用暖房機（対象施設の備え付けであるこ
とが分かるように）を写したもの

様式第2号（第5条関係）

令和6年度 松本市施設園芸省エネルギー化支援事業実施計画書

下記の例文を参考に、本事業に取り組む目的をお書きください。

申請者【団体名（※）】

【氏名（代表者名）】 ○○○○ ○○

※法人・団体等で申請する場合に記入

1 事業の目的

燃油使用量削減のため、ヒートポンプと内張カーテンを新規導入し、劣化している被覆資材の張替えを行う。

2 事業計画

(1) 事業実施予定施設

補助対象施設がある場所の地番と補助対象施設の面積を記入

所在地	松本市○○○○○○○○○123-4	面積（a）	10a
-----	-------------------	-------	-----

(2) 施設園芸 実施計画

区分	事業実施予定施設における栽培品目	出荷量（t、千本等／年度）	事業実施予定施設の年間燃油使用量（L／年度）	備考
現状	キュウリ 出荷量は最新の量をお書きください。	35t ※1	4,500L／年度 ※2	過去3年間のうち最大となった年間燃油使用量を記入（※期間は原則的に4月～3月としますが、申請者の事業年度に合わせて頂いても構いません）
次年度見込み	キュウリ	35t	2,475L／年度 ※3	別紙Q&A等の数値を参考に計算し、ご記入ください。

※1 当該事業実施予定施設で栽培している作物の出荷量（t、千本等／年度）を記載し、品目が複数ある場合には内訳を記載すること。

※2 過去3年間の最大使用量（L／年度）を記載すること。

※3 当該事業での資材・機器導入効果を加味した燃油使用量の見込みを記載すること。

3 機器又は資材の導入計画

(1) 工期

着工予定年月日： 令和6年11月1日

竣工予定年月日： 令和7年3月31日

現時点での予定日を記入

(2) 機器・資材等導入計画

導入機器・資材等名	品名・型式・規格・構造等	数量 (個数等の事業量)	事業費 (円) ※2	市補助金額 (円) ※3	備考 (消費税等相当額を記載) ※4
ヒートポンプ	施設園芸用ヒートポンプ EPH61	2台	3,850,000 円	2,333,000 円	350,000 円
ハウス本体の被覆資材	〇〇〇〇	〇m			
保温カーテン	〇〇〇〇	〇m			

品名など、導入資材の詳細を記入

事業費(税込)の合計額を記入

ヒートポンプ、保温カーテン、ハウス本体の被覆資材等、導入資材・機器の種類を記入

市補助金額(事業費(税抜)×2/3 ※1,000円未満切り捨て)を記入

消費税等相当額を記入(その他備考は余白に)

- ※1 消費税を控除しない。
- ※2 事業費は税込価格の合計額を記入すること。
- ※3 市補助金額は、事業費から消費税等相当額を控除した額に3分の2を乗じて算出し、1,000円未満の端数が生じた場合はそれを切り捨てること。
- ※4 備考欄に事業費の消費税等相当額を記載すること。

4 事業完了予定年月日

令和7年3月31日

基本は令和7年3月31日としてください。実際の完了日が完了予定年月日より遅れると変更申請が必要となります。

令和5年度に申請した市補助金、自己負担額、事業費(税込)を記入(※令和5年度に本事業の利用がなければ全て0)

5 収支予算書

(1) 収入の部

区分	本年度予算額 (円)	前年度予算額 (円)	比較増減		備考
			増(円)	減(円)	
市補助金	2,333,000	1,000,000	1,333,000		増減額(本年度予算額-前年度予算額)を記入 ※増額していれば増、減額していれば減の欄に
自己負担額	1,517,000	650,000	867,000		
計	3,850,000	1,650,000	1,200,000		

自己負担額(事業費(税込)-市補助金額)を記入

区分	本年度予算額 (円)	前年度予算額 (円)	比較増減		備考
			増(円)	減(円)	
機器・資材購入費	3,850,000	1,650,000	1,200,000	0	
計	3,850,000	1,650,000	1,200,000	0	

※ 国又は他の地方公共団体等の他の制度により補助金を受ける場合は、その補助金額を収入の部に記載すること。

事業費(税込)を記入

令和5年度に本事業を利用した場合は、その事業費を記入

問	答
<p>次年度の見込みの燃油使用量はどのように計算したらいいですか。</p>	<p>メーカーや「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル（別紙）」が提示する熱還流係数等から、理論上の燃油削減率を求めて使用してください。</p> <p>【例】 施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル [p28] より</p> <p>① （現）農 P0 の 1 層カーテン ⇒ （導入後）農 P0 + 農 P0 の 2 層カーテン</p> <p>〈熱貫流係数〉 （現）3. 9 ⇒ （導入後）3. 2 $(3. 9 - 3. 2) / 3. 9$ = 18% の燃油使用量の削減が可能</p> <p>② （現）1 重 + 農ポリの 2 層カーテン ⇒ （導入後）1 重 + 農 P0 の 2 層カーテン</p> <p>〈熱貫流係数〉 （現）3. 4 ⇒ （導入後）3. 2 $(3. 4 - 3. 2) / 3. 4$ = 6% の燃油使用量の削減可能</p> <p>③ 他にもおおよそ以下の数字をご活用ください。 ・ 10 a 当たりヒートポンプ 1 台の導入 （ハイブリッド運転）：40% 削減 ・ 10 a 当たり循環扇 1 台の導入：10% 削減 ・ 環境制御システムの導入：5% 削減 ・ ハウス本体の被覆資材の張替え（同等資材の場合）： 5% 削減</p>
<p>内張カーテンに関して、同じ資材に更新する場合、燃油使用量（見込み）はどのように計算すればよいでしょうか。</p>	<p>耐用年数が過ぎている場合は「カーテンなし」とします。</p> <p>【例】 （現）1 重 + 農ポリ [耐用年数切れ] の 1 層カーテン ⇒ （導入後）1 重 + 農ポリの 1 層カーテン ↓ （現）1 重被覆カーテンなし ⇒ （導入後）1 重 + 1 層カーテン（農ポリ） と見なします。</p> <p>よって… 〈熱貫流係数〉 （現）6. 4（1 重被覆資材：農ビの場合） ⇒ （導入後）4. 2 $(6. 4 - 4. 2) / 6. 4$ = 34% の燃油使用量の削減が可能</p>

II 温室の保温性向上技術

表-1 被覆方法別の熱貫流係数 (熱貫流率)

(A) 1重被覆

保温方法	被覆資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
1重被覆 カーテンなし	ガラス、硬質板	5.8
	農ビ、農PO、硬質フィルム	6.4
	農ポリ	6.8

(B) 保温被覆 (その1) (固定張り資材: ガラス、硬質板、農ビ、農PO、硬質フィルム)

保温方法	カーテン資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
1重 + 1層カーテン	不織布	4.4
	農ポリ (ポリエチレンフィルム)	4.2
	農酢ビ (酢酸ビニルフィルム)	4.1
	農PO (ポリオレフィン系フィルム)	3.9
	農ビ (塩化ビニルフィルム)	3.8
	中空構造フィルム	3.7
	LS同等品 (シルバ1: 透明1)	3.7
	LS同等品 (全面シルバ)	3.5
1重 + 2層カーテン	布団資材 (12mm~5mm厚)	1.8~3.0
	農ポリ + 不織布	3.6
	農ポリ2層	3.4
	農ビ (農PO) + 不織布	3.4
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 不織布	3.4
	農ビ (農PO) + 農ポリ	3.3
	農ビ (農PO) 2層	3.2
	LS同等品 (全面シルバ) + 不織布	3.1
	中空構造フィルム2層	3.1
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 農ビ (農PO)	2.9
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 中空構造フィルム	2.9
	アルミ蒸着 + 不織布	2.9
	アルミ混入中空構造フィルム + 農PO	2.7
	LS同等品 (全面シルバ) + 中空構造フィルム	2.7
	アルミ蒸着 + 透明フィルム	2.5
アルミ蒸着 + LS同等品 (シルバ1: 透明1)	2.5	
農PO + 布団資材 (12mm~5mm厚)	1.5~2.5	
1重 + 3層カーテン	寒冷紗 (または割布) 2層 + 不織布	3.4~4.2
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 不織布 + 寒冷紗	3.1~3.6
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 不織布2層	2.8
	農ビ (農PO) + 農PO + 不織布	2.8
	農ビ + 農PO 2層	2.7
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) 2層 + 通気性資材	2.7
	中空構造フィルム + 透明フィルム2層	2.7
	中空構造フィルム2層 + 透明フィルム	2.7
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 透明フィルム2層	2.6
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) 3層	2.5
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) + 中空構造フィルム + 農ビ (農PO)	2.5
	LS同等品 (シルバ1: 透明1) 2層 + 中空構造フィルム	2.5

(C) 保温被覆 (その2)

保温方法	被覆資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
固定2重被覆 空気膜2重	カーテンなし	3.8
2重 + 1層カーテン	農ビ、農PO	3.2
	中空構造フィルム	3.1

出典) 施設園芸・植物工場ハンドブック